

公開講座「神戸の欧米系コミュニティと神戸ユニオン教会」

日時：2026年3月1日（日）10時-12時

会場：神戸大学六甲台第1キャンパス 経済学研究科 本館 232 教室

会場収容人数：200人程度（飛び入り参加歓迎です！）

概要

神戸港開港まもない19世紀後半に誕生した「神戸ユニオン教会」は、米国、英国、ドイツと多様なルーツを持つ人々が集う場でした。ヴォーリス建築で知られる現フロインドリーブ本店（旧教会堂＝背景写真）をはじめ、神戸の街には今も教会ゆかりの場所が数多く残っています。本講座では6名の講師から6つのテーマでユニオン教会と神戸の欧米系コミュニティの軌跡を辿ります。

講師紹介

大津留 厚 氏 「神戸ユニオン教会とハプスブルク捕虜兵」

神戸大学名誉教授。ハプスブルク近代史、青野ヶ原捕虜収容所の歴史が専門。

林 祐一郎 氏 「関西におけるドイツ系宣教師の活動」

京都大学大学院文学研究科・博士後期課程。近代ドイツ史が専門。

井上 舞 氏 「神戸ユニオン教会と史料保存」

人文学研究科地域連携センター・特命講師。神戸ユニオン教会の史料保存事業に従事。

川島 智生 氏 「建築から見る神戸の観光史」

神戸情報大学院大学客員教授。一級建築士。建築史が専門。

森本 恵一 氏 「神戸の教会とオルガン」

大阪大学大学院人文学研究科・博士後期課程。オルガン奏者、日本のオルガン受容史が専門。

衣笠 太郎 氏 概要説明・「神戸のドイツ系コミュニティ」

神戸大学大学院国際文化学研究科・准教授。「神戸市域における欧米系コミュニティ研究会」主宰。

参加費無料・事前申し込み不要

お問い合わせ 神戸大学大学院国際文化研究科 衣笠太郎（主催者代表）

E-mail tkinugasa@harbor.kobe-u.ac.jp

主催：神戸市域における欧米系コミュニティ研究会 共催：神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート
本事業は神戸市から研究助成（「大学発アーバンイノベーション神戸」）を受けて開催いたします。